

# 「使えて・話せる」一石二鳥の英文法

高瀬 博

## 1. 問題提起

「日本人は、中学・高校・大学と10年間も英語を学んでいるのに、どうして外国人と流暢に英会話ができないのだろうか。」という声を耳にするようになって久しくなります。中には「文法中心の従来の指導法に問題があるのだ。これからは文法なんか必要ない、オーラル、オーラル。」と極端な方向に走る人もいます。はたしてこれからの英語教育はこんなことでいいのでしょうか。文法を学びながら英会話も上手になる、そんないい指導法はないのでしょうか。

そこで考えたのが、「使えて・話せる 一石二鳥の英文法」です。以下はその実例です。文法を学ばずして、次の文章がすらすらと口から出てきますか？

## 2. 婉曲表現

(例題1)

1. あなた最近、太ったんじゃない？
2. この辺に、今晚泊まる宿はないかしら。
3. もっとまじめにやりなさい。
4. おかげでうまくいったわ。

上の文章を英語で言ってごらん、と言うと、ほとんどの人の口から出てくるのは次のようなものです。通じるかもしれませんが、はたしてこれでいいのでしょうか？

- \*1. You have gained weight recently, haven't you?
- \*2. Do you know a hotel around here where I can stay tonight?
- \*3. Do it more seriously.
- \*4. I went well thanks to you.

ここでの重要な文法事項は、「婉曲表現」です。相手に自分の考えを伝えるとき、ずけずけともの言うのではなく、「気配りをしながら」自分の意志を伝えるのが「日本の文化」というものです。そこで公式を示すと次のようになります。

公式：「婉曲」を表す to-不定詞構文

- ① seem to ~ 「～のようだ」
- ② happen to ~ 「ひょっとして～」
- ③ try to ~ 「～しようとする」
- ④ manage to ~ 「どうにか～する」

上の公式(文法事項)を覚えて例題1を英語にすると、模範解答は次のようになります。

1. You seem to have gained weight recently.
2. Do you happen to know a hotel around here where I can stay tonight?'
3. Try to do it more seriously.
4. I managed to go well thanks to you.

1は「太ったみたいだね」と言えば相手に気配りをした表現になるし、2も、「ひょっとして知っていますか？」と言うことにより相手のプライドを傷つけないですむのです。3にしても、相手もそれなりに努力をしているのだから、「もっとまじめにやるように心がけようね。」と言うのが相手への配慮というものです。4は、「おかげで私もどうにかうまくいきました。」と謙遜するのが日本人の美德でしょう。

以上のようなことを考えてみると、「英文法」を正しく学ぶことも必要ではないのでしょうか。

## 3. 単数形と複数形

(例題2)

1. わかった人は手を上げなさい。
2. 汚い手で食べてはいけませんよ。食べる前には手を洗ってください。
3. 目をつぶって十数えてごらん。
4. 親の言いつけは守りなさい。
5. 寝る前には歯を磨きなさい。
6. お母さん、目薬をさしてください。
7. ジョニー、妹の手を引いてやってちょうだい。

上に挙げたのは日常よく耳にする表現ですが、これらを英語で表現しようとするとき、あなたはどのようなふうを考えますか。

「文法なんか知らない、オーラル、オーラル」と言ったり、「通じればいいんだよ」と開き直ったりする人もいますが、そんなことでいいのでしょうか。「なるほどね。」といつも謙虚に学習する態度こそ、今の若者には必要なのではないのでしょうか。

模範解答をつけておきますから、単数形か複数形か(大切な文法事項の一つ)を考えながらスラスラと口から出てくるように練習することをお勧めします。

1. Raise your hand if you understand. (理解したとき) / Raise your hand if you can answer it. (答えがわかったとき)
2. Don't eat with dirty hands. Wash your hands before you eat.
3. Close your eyes and count to ten.
4. Obey your parents.
5. Brush your teeth before you go to bed.
6. Will you put some eye drops in my eyes, Mom?
7. Will you lead your little sister by the hand, Johnny?

いかがでしたか。名詞が出てきたら「単数形を使うべきなのか、複数形を使うべきなのか」がつねに、いや無意識に口から出てくるようになればいいですね。

## 4. 進行形

みなさんは、「進行形(be + ing)」と聞くと何を連想しますか。「そんなの簡単だよ。『～している』だろう?」とそれだけですませている人も多いのではないのでしょうか。そこで問題です。日常よく耳にする次の文を英語で表現してみてください。

(例題3)

1. ねえ、あの人が、かつらじゃない?
2. 疲れてきたわ。少し休憩しましょう。
3. 来週、学園祭があるのですが、よかったら来ませんか。
4. 君はいつも授業中に寝ているけれど、やる気はあるの?
5. もうすぐ母の日だね。プレゼントは何にする、みどり?
6. 理想が高いんじゃない。

模範解答は次のようになります。

1. Look, that man is wearing a wig, isn't he?
2. I'm getting tired. Let's take a break for a while.
3. We are having a school festival next week. Come to see our school festival if you can.
4. You are always sleeping in class. Do you feel motivated?
5. Mother's Day is coming soon. What kind of present should we give her, Midori?
6. Aren't you aiming too high?

いかがですか。「進行形」には、

- ① 「～している」
- ② 「～しつつある」
- ③ 「～の予定」
- ④ 「～ばかりしている」

といった訳し方があるという「文法事項」さえ知っていれば、英会話力もグーンと伸びていくのではないのでしょうか。

## 5. 完了形

(例題4)

1. 宝くじはよく買うけど、当たったためしがないわ。
2. おなかがすいたなあ。昨日から食事でも満足していないんだ。
3. ただ今ファックスをいただきました。
4. お母さん、私のコアラのぬいぐるみ、どこに行ったか知らない?
5. 火事です。みなさん、安全な場所に避難してください。

上の文はすべて、「完了形」を使ったものです。「完了形」(have + 過去分詞)には主に、

- ① 経験 (～したことがある／ない)
- ② 継続 (ずっと～している)
- ③ 完了 (ちょうど～したところだ／～してしまった／まだ～していない)
- ④ 結果 (～に行ってしまった)

の4つの用法があるという「文法的知識」さえあれば、例題4のような日常よく耳にする表現はほとんど簡単に口から出てくるでしょう。「文法なんかいらない、オーラル、オーラル」という考えにとらわれてはいけません。私たちがこうやって「日本語」を操れるようになったのも、小学校のころ「あいうえお」という基本を習ったからですし、「英語」である程度読み書きができるようになったのも、中学の先生が基礎である文法を懇切丁寧に教えてくれたからです。

それではここで、例題4の解答例を挙げておきましょう。

1. I often buy lottery tickets, but I have never won.
2. I'm so hungry! I haven't had a decent meal since yesterday.
3. I've just received your fax.
4. Do you know where my stuffed koala has gone, Mom?
5. A fire has broken out. Everyone, please take shelter in a safe place immediately.

## 6. have を使った慣用表現

(例題5)

1. 一口食べてごらん。おいしいわよ。
2. 先生、おなかが痛いので保健室に行ってもいいですか。
3. お手元のプリントをご覧ください。
4. ひどい風邪をひいているので、今日は学校を休ませてください。
5. 君に勝ち目はないよ。あきらめるんだね。
6. よく眠れましたか。
7. ひじを曲げると痛いのです。
8. 残念ですが、今回の計画にはあまり乗り気じゃないのです。
9. おかげでよい経験ができました。

例題5についても、次の慣用表現さえ知っていれば大丈夫ですね。

- ① have a bite 「食べる」
- ② have a stomachache 「おなかが痛い」
- ③ have a look at ～ 「～を見る」
- ④ have a cold 「風邪をひく」
- ⑤ have a chance 「チャンスがある」
- ⑥ have a sleep 「眠る」
- ⑦ have a pain 「痛い」
- ⑧ have an interest in ～ 「～に興味がある」
- ⑨ have an experience 「経験する」

それでは、模範解答です。

1. Why don't you have a bite? It tastes good.
2. I have a stomachache, Sir. Can I go to the nurse's office?
3. Please have a look at the handout you have in your hand.
4. I have a really bad cold today, so please let me absent from school.
5. You don't have a chance to win. Give it up!
6. Did you have a good sleep?
7. I have a pain in my elbow when I bend it. Is it all right?
8. I'm sorry, but I don't have much interest

in the plan this time.

9. I had a good experience, thanks to you.

## 7. 受動態

〈be + 過去分詞〉の形をとっているものを「受動態」と言います。一般的には、(1)主語が物のとき、(2)行為者を言いたくないとき、(3)丁寧な表現にしたいとき、などに使われます。これらの場合、日本語訳は必ずしも「～される」とならないので注意が必要です。それでは例題6～9をやってみましょう。

(例題6)

1. うちの子はしょっちゅう外で遊んでいるので、生傷が絶えないの。
2. コンサート会場は、若者たちの熱気でむんむんしていたわ。

(例題7)

1. 彼女は箱入りだから、扱いにくいわよ。
2. この番組は生放送でお送りしています。

(例題8)

1. あなたにはもう幻滅だわ。
2. 納得がいくまで何度でもやっごらん。
3. もうくたくたで倒れそうだわ。

(例題9)

1. ただ今から当選者の発表を行います。
2. 前方に見えますのが国会議事堂でございます。
3. 親しき仲にも礼儀ありだよ。

英文法を全く学んでいない人の口から、上記のような表現がスラスラと出てくるのでしょうか。このような表現を習得するには、ある程度の文法知識があるほうが丸暗記をするよりも覚えやすいというデータ結果が出ています。その事実を謙虚に受け止め、コツコツと努力を積み重ねることをお勧めします。

例題6では、

- ① be covered with ～ 「～で覆われている」
- ② be filled with ～ 「～で満たされている」

という表現を覚えておけば、次のような英語がすつと出てくるでしょう。

例題6の模範解答：

1. My son is always playing outdoors, so he is always covered with cuts and bruises.
2. The concert hall was filled with the bustle of young people.

例題7は、

- ① 完了形の受け身は 〈have + been + p.p.〉
- ② 進行形の受け身は 〈be + being + p.p.〉

という文法事項を押さえていれば、次のようなこなれた答えが出てくるでしょう。

例題7の模範解答：

1. She has been raised as treasure and overprotected by her parents, so she is difficult to deal with.
2. This program is being broadcast live.

例題8にしても、感情を表す動詞の用法をマスターしてさえいれば、答えは簡単です。

例題8の模範解答：

1. I am very disappointed with you.
2. Try again and again until you are satisfied.
3. I'm so tired that I could collapse.

例題9では、〈助動詞 + be + p.p.〉の使い方をまとめておけば完ぺきでしょう。

例題9の模範解答：

1. The prize-winner will be announced now.
2. The building that can be seen in front of you is the Diet Building.
3. Courtesy shouldn't be forgotten even if you are close friends.

## 8. おわりに

以上のように考えますと、「文法なんかいらない」という考えは捨て、謙虚に地道に学んでいくのが賢明ではないでしょうか。みなさんも、これを機に「使えて・話せる 英文法」を勉強してみませんか。